

2021.4.19

AK-StarCamテスト報告

高橋正好

星のソムリエ@山形

日時 2021.4.19 20時過ぎ 月齢 7.4

機材 カメラ ZWO ASI 224MC ￥30,000程度
レンズ Hd cctvレンズ3.0MP M12 2.8-12ミリメートルバリフォーカル F1.4、マニュアルフォーカスズーム ￥1,000~2,000
カメラドライバー DirectShowドライバー (zwo社無料提供) PCにインストール
PCにインストールしておくくとAK-StarCamのカメラ選択窓にASIカメラが表示

AK - StarCamnの静止画撮影



北斗七星 焦点距離12mm ミザールとアルコルもはっきり分離

AK - StarCamnの条件

平均画像 + 明るい画素

フレーム数 20

背景の減算処理を行う

モード変更時は平均をリセットする

移動時は平均をリセットする

カメラ設定

ゲイン 約450 これ以上にするとノイズ増大

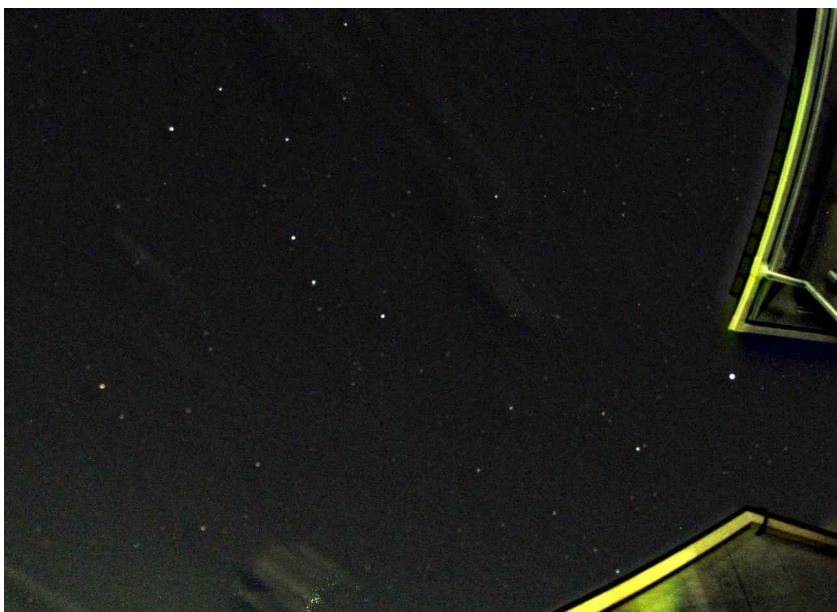
露出 約0.5秒

AK-StarCamテスト評価まとめ

1. 安価なCCTVレンズでも6等星以上を観望できる
2. 星のドットが大きく等級の明るさに応じた大きさのようで見やすい
ソフトンフィルター等不要
3. 背景がダークで見やすい
4. 視野を移動した時の残像がやや気になる
改善できればうれしい

今回の観望ではオーロラ色は見られなかった
ただ、日中明るいときにカメラを見るとオーロラ色が出る。明るいほど顕著になるようです。

以上より、街頭での観望に、あるいは天文台ガイドツアー時に十分使えると感じました。



北斗七星と牛かい座 アークツールズ 焦点距離2.8mm